【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年6月28日(2024.6.28)

【公開番号】特開2024-26797(P2024-26797A)
【公開日】令和6年2月28日(2024.2.28)
【年通号数】公開公報(特許)2024-037
【出願番号】特願2024-4838(P2024-4838)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　６０１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月20日(2024.6.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて所定の利益を付与可能な遊技機において、
遊技の進行が不能とされる特定モードを発生させる特定モード発生手段と、
特定の異常を判定する特定異常判定手段と、
前記特定の異常に対応する特定異常報知を行う特定異常報知手段と、を備え、
前記特定モードは、特定の管理者操作によって解消可能であり、
通常の遊技中に限らず、前記特定モード中においても、前記特定異常判定手段による判定が可能であり、
前記特定異常報知は、複数の報知部を用いて実行可能であり、
前記複数の報知部には、遊技者が視認困難または視認不能な位置に設けられる視認困難報知部と、遊技者が視認容易な位置に設けられる視認容易報知部とが含まれ、
通常の遊技中に行う前記特定異常報知は、前記視認困難報知部と前記視認容易報知部の両方で実行されるが、前記特定モード中に行う前記特定異常報知は、前記視認容易報知部では実行されずに前記視認困難報知部で実行され、
前記特定モードが前記特定の管理者操作によって解消された場合には、前記特定モードが発生される前の遊技情報のうち、所定遊技情報は初期化されるものの、特定遊技情報は初期化されず保持され、前記所定遊技情報を初期化せずに前記特定モードを解消することはできないように構成されて成る
ことを特徴する遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来より、遊技場管理者による設定変更操作によって、当り確率等の設定状態を複数の

いずれかに設定する遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開平６－９１０４９号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
しかしながら、従来の遊技機については、不正行為に対する対策に欠けるという問題があった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、不正行為に対する抑止力の向上を図ることが可能な遊技機を提供することにある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記した目的を達成するために、本発明においては、
所定条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて所定の利益を付与可能な遊技機において、
遊技の進行が不能とされる特定モードを発生させる特定モード発生手段と、
特定の異常を判定する特定異常判定手段と、
前記特定の異常に対応する特定異常報知を行う特定異常報知手段と、を備え、
前記特定モードは、特定の管理者操作によって解消可能であり、
通常の遊技中に限らず、前記特定モード中においても、前記特定異常判定手段による判定が可能であり、
前記特定異常報知は、複数の報知部を用いて実行可能であり、
前記複数の報知部には、遊技者が視認困難または視認不能な位置に設けられる視認困難報知部と、遊技者が視認容易な位置に設けられる視認容易報知部とが含まれ、
通常の遊技中に行う前記特定異常報知は、前記視認困難報知部と前記視認容易報知部の両方で実行されるが、前記特定モード中に行う前記特定異常報知は、前記視認容易報知部では実行されずに前記視認困難報知部で実行され、
前記特定モードが前記特定の管理者操作によって解消された場合には、前記特定モードが発生される前の遊技情報のうち、所定遊技情報は初期化されるものの、特定遊技情報は初期化されず保持され、前記所定遊技情報を初期化せずに前記特定モードを解消することはできないように構成されて成る
ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。
手段１：
ヒューズを含む複数の電子部品を実装した基板を備える遊技機において、
前記基板の実装面には、
緑色または黒色となる暗色のレジスト膜が略全域に亘って形成されるとともに、前記ヒューズの実装領域を特定する位置特定情報が当該レジスト膜上に印刷されており、
該位置特定情報は、前記レジスト膜の色と比較して明るい色であり、
前記位置特定情報によって特定される前記ヒューズの実装領域のうち前記ヒューズのガラス管に対向する特定実装領域は、前記レジスト膜が形成されて前記暗色に視認されるように構成され、
前記基板の信号配線パターンは、前記特定実装領域を通過することなく形成され、
当該ヒューズのガラス管内に備えられて、所定の電流を超える電流が流れることにより溶断可能な過電流保護部は略銀色であり、
前記位置特定情報は白色で形成されており、
さらに、前記遊技機には、あらかじめ設定された電圧を超えることで作動する特別電子部品が備えられ、当該特別電子部品が作動した場合には前記過電流保護部を溶断可能とする、
ことを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の遊技機においては、従来に比べて不正行為に対する抑止力の向上を図ることができる。